



大杖 高彦 議員

町独自の支援計画は

町長

新生児に特別給付金を検討する



生徒たちには学校が一番

【大杖】緊急事態宣言の影響を受けた地域住民に、町の独自策で支援することが自治体としての責務と考える。

町独自の支援計画はあるか。

【町長】本町では特別定額給付金の基準日4月27日以降に生まれた子どもを対象とした「基準日後出生児への特別給付金」を検討中である。

【教育長】感染防止対策により社会経済が大きく変化し、児童生徒の家庭に及ぼす影響を懸念する。

関係機関と連携を

強化し現状把握に努め、必要に応じて就学援助費などの支援につなげたい。

【大杖】自主組織では、コロナ問題で身動きが取れず困っている本町出身の学生さんを元気づけるために何か支援できないか、議論している。

町が協力する考えは。

【町長】地域自主組織の取り組みに協力できるところは協力したい。

国、大学別に支援もあり、町としては地元の特産品を送るなど現状を把握し進めたい。

防火水槽の撤去に集落合意は必要か

町長

集落の意見を聞き撤去を検討する



加藤 紀之 議員



防火水槽の標識(イメージ写真)

【加藤】購入した土地に設置されている防火水槽を撤去してほしい話が進まない、との相談を受けた。

その土地には、購入前から防火水槽が設置されており、知らずに購入された。町に相談したが、撤去はむずかしいと言われ困っているという内容だ。

このようなケースでは、集落の合意がないと撤去できないのか。

【町長】公設の防火水槽は集落からの要望で設置し、一部費用負担

してもらっている。火災がいつ起こるか分からないので、集落と土地所有者の意見を聞き撤去し、必要であれば新設をしたい。

【加藤】土地の所有者との間に土地の使用貸借契約は結ばれていないが、新たな所有者との間ではどうか。

【町長】現在の所有者と使用貸借契約は結んでいない。

地域の皆さんや所有者の意向に寄り添った対応はしていきたい。